

令和3年度 隠岐高等学校 学校評価書

A：十分に達成できている状況 B：概ね達成できている状況 C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況

*肯定的意見の割合＝総数に対する肯定的意見[そう思う・どちらかといえばそう思う]の割合(%)、回答のうち「わからない」は除く

| 教育目標 | 重点目標 | 学校評価実施項目 | 学校評価質問項目 | | | アンケート結果[肯定的意見の割合(%)] | | 評価 | | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|---|---|-----|----|------|----|---------|----|----|---|---|---|--|---|
| | | | 教職員 | 生徒 | 保護者 | *教職員 | | *生徒 | | *保護者 | | | | | | | | | |
| | | | | | | R3 | R2 | R3 | R2 | R3 | R2 | | R3 | R2 | | | | | |
| 健康で、 現在と未来の 学力を持ち、 隠岐を支え、 自立する 人材の育成 | 新学習指導要領実施を 意図した教育 環境の整備と 授業改善 | ①学力の向上 (教務部) | プロジェクト等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われているか。 | プロジェクト等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われているか。 | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 | 100 | 96 | 96 | 98 | A | 98 | A | 97 | ■すべての授業においてICT機器を工夫して活用している。 ○ICT機器を用いた学習を充実させる。 ※3月9日(水) ICT活用研修(予定) | A | ①について、ICTを効果的に活用し、更なる学力向上への取り組みを期待する。 ③について、例えば読書週間全校200冊などある程度達成可能な数値目標を設定し、図書委員を中心としたクラスの取り組みにもっていくとよい。大々的に目標を宣言し、中間発表や最終発表を行い、クラスや学校全体のムードを盛り上げてほしい。はじめは仕方なしであっても時がたてば自然と本に向かう生徒も出てくる。 | |
| | | ②家庭学習 (教務部) | 企画展示(出張図書館など)や図書館により、図書館を利用した授業などは、本に頼りすぎることや図書館利用向上につながっているか。 | 企画展示(出張図書館など)や図書館により、図書館を利用した授業などは、本に頼りすぎることや図書館利用向上につながっているか。 | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 ※A:適切である B:概ね適切である C:難しすぎる D:難しすぎる | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 ※A:適切である B:概ね適切である C:難しすぎる D:難しすぎる | 各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切か。 ※A:適切である B:概ね適切である C:難しすぎる D:難しすぎる | 70 | 68 | 54 | 71 | 70 | 72 | B | 65 | B | | 70 | ■各教科からの課題は概ね適切であると考えられる。 ○生徒の学習意欲を高め基礎学力を定着させる。また、社会的・職業的自立に向けて支援する。 |
| | | ③読書活動 (教育研究部) | 企画展示(出張図書館など)や図書館により、図書館を利用した授業などは、本に頼りすぎることや図書館利用向上につながっているか。 | 企画展示(出張図書館など)や図書館により、図書館を利用した授業などは、本に頼りすぎることや図書館利用向上につながっているか。 | 企画展示(出張図書館など)や図書館により、図書館を利用した授業などは、本に頼りすぎることや図書館利用向上につながっているか。 | 70 | 68 | 54 | 71 | 70 | 72 | B | 65 | B | 70 | ■図書委員会から発信する活動を行ったが、生徒の図書館利用促進には繋がらなかった。 ○図書委員の活動に加え、朝読書週間など教育研究部からの発信も同時に行う。 | | | |
| | 進路指導と キャリア教育の 充実 | ④進路実現 (進路指導部) (学年部) | 模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっているか。 | 模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっているか。 | 模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっているか。 | 85 | 76 | 79 | 81 | 88 | 88 | A | 84 | A | 82 | ■模試や補習などは年間予定どおり実施した。(進路指導) ■模試の活用を指し示し学力向上に向けて取り組んだ。(進路指導) ○模試・土曜補習・各種検定試験の意義を理解させ、主体的に取り組ませる。(学年部) ○土曜補習の実施回数・科目・形式などを再検討する。(学年部) | A | ④について、補習や模試等の目的や意義を生徒自身が明確に捉えられるよう更なる指導が必要である。また、進路実現に必要な情報提供を積極的に行ってほしい。 ⑤について ・引き続き、地域のヒト・モノ・コトと協力して取り組んでほしい。 ・インターンシップは隠岐自然館も候補に入れてはどうか。 | |
| | | ⑤キャリア教育 (進路指導部) (教育研究部) | 進路講演会(3年)や進路説明会(進路ガイダンス)、インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐シオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(シオパーク研究、HR)等のキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっているか。 | 進路講演会(3年)や進路説明会(進路ガイダンス)、インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐シオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(シオパーク研究、HR)等のキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっているか。 | 進路講演会(3年)や進路説明会(進路ガイダンス)、インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐シオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(シオパーク研究、HR)等のキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっているか。 | 85 | 85 | 86 | 89 | 92 | 92 | A | 88 | A | 89 | ■感染拡大防止のため一部オンラインでの開催となったが、計画は概ね実施した。 ○キャリア教育について、分掌・学年部で連携してより効果的な取り組みとする。(進路指導) | | | |
| | | ⑥基本的な生活習慣 ・道徳教育 (生徒指導部) | 教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっているか。 | 教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっているか。 | 教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっているか。 | 75 | 73 | 89 | 96 | 83 | 86 | A | 82 | A | 85 | ■生徒が安心・安全な学校生活を送るために様々な取り組みを行った。 ■生徒・保護者ともに昨年度より若干低くなった。整理整頓や規則やルールの遵守が不十分であり、基本的な生活習慣・生活態度・社会性が身に付いていないと感じている結果と考える。 ○生徒の自主性を尊重しながらも、やるべきことがきちんとできるように指導を徹底する。 | | | |
| | 地域との協働による 魅力の推進 | ⑦情報発信 (教育研究部) (学年部) | ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっているか。 | ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっているか。 | ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっているか。 | 65 | 54 | 81 | 86 | 84 | 83 | A | 77 | B | 74 | ■教職員の評価が低い。(教育研究) ■HPをリニューアルしたこともあり、更新作業に不慣れな面があった。(学年部) ○Facebookの登録を促し、情報発信を見やすくする。(教育研究) ○配付する文書が確実に保護者に届くように指導する。またその内容をHPにも掲載する。(学年部) ○必要な情報がHPからスムーズに閲覧できるよう掲載方法を検討する。(学年部) | A | ⑥について、本校に限らず、生徒の評価に比べ教員の評価が低い傾向にある。クラスづくりとの相関がないとは言えないのではないか。 ⑦について ・学校だよりは読みやすくなった。生徒の活動の様子が写真とともに伝わってくる。対外試合の結果なども興味深い。 ・SNSでの情報発信等を積極的にいき、地域から見える隠岐高校を目指してほしい。また、教職員も本校のFacebookに反応してほしい。 ・ホームページやFacebookに携わる教員の更なる負担が懸念される。 ⑨について、隠岐ジオパーク研究及び隠岐ジオパーク探究で3年までのようにスキルアップさせるかを体系的に見える化してほしい。 ⑩について、探究活動の最終段階で「調べたことの価値」にまで高めると更に良くなる。「価値」にまで言及することが本当に意味での郷土理解につながる。それが将来の隠岐を担っていくこととする大きな動機になっていく。 | |
| | | ⑧保護者との連携 (総務部) (生徒指導部) (学年部) | 学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっているか。 | 学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっているか。 | 学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっているか。 | 92 | 85 | | | 77 | 81 | A | 85 | A | 83 | ■感染拡大防止のため学校行事やPTA活動における連携は十分取れなかった。(総務) ■奨学金制度は生徒・保護者に対し周知し、必要な支援を行ったが、生徒を介するため保護者に十分に伝わっていない可能性がある。(総務)(学年部) ■「保健だより」の定期的な発行や健康診断結果などを通して情報提供を行った。(生徒指導) ■学校行事やPTA活動については、各種発行物で適宜周知した。(学年部) ○奨学金制度は、保護者面談も活用して周知徹底する。(学年部) ○必要な情報がHPからスムーズに閲覧できるよう掲載方法を検討する。(学年部) | | | |
| | | ⑨教育の魅力化 (教育研究部) | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐シオパーク研究発表会(2年)、3年シオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)は、魅力ある教育活動になっているか。 | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐シオパーク研究発表会(2年)、3年シオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)は、魅力ある教育活動になっているか。 | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐シオパーク研究発表会(2年)、3年シオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)は、魅力ある教育活動になっているか。 | 72 | 56 | 85 | 88 | 88 | 87 | A | 82 | A | 77 | ■昨年度に比べ教職員の評価が高くなった。 ○今まで見えにくかった活動の発信を継続する。 ○諸活動は学年部や担当教員、地域の方々とも連携し、より魅力的な活動となるよう取り組む。 | | | |
| | | ⑩地域と連携した信頼される学校づくり (教育研究部) | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっているか。 | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっているか。 | 隠岐シオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっているか。 | 88 | 92 | 92 | 93 | 91 | 92 | A | 90 | A | 92 | ■教職員がやや低くなったが、全体的に満足いく結果となった。 ■感染拡大防止のため活動制限や中止になる行事もあった。 ○コロナ禍においても地域から見える学校づくりを行う。 | | | |
| 人権意識の高揚と安心できる生徒集団の育成 | ⑪人権意識 (生徒指導部) | 人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっているか。 | 人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっているか。 | 人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっているか。 | 88 | 100 | 91 | 99 | 90 | 93 | A | 90 | A | 97 | ■HR活動や講演会などで人権に配慮した言動が生徒の中に育ってきているが、周囲への配慮を欠く言動も見られた。 ○良好な人間関係構築と自尊感情育成につながる人権教育を行う。 ○教職員一人一人が人権を意識した教育活動を行う。 | A | ⑪⑫について、これらの評価が限りなく100%に近づけば、⑩の学校満足度や本校の魅力化につながる。 | | |
| | ⑫生徒理解・教育相談 (学年部) (生徒指導部) | 「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっているか。 | 「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっているか。 | 「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっているか。 | 92 | 100 | 91 | 87 | 86 | 86 | A | 90 | A | 91 | ■「いじめアンケート」・教育相談委員会・担任の日々の観察等により、支援や配慮を必要とする生徒や困り感を持つ生徒の把握に努めた。(生徒指導) ■学期毎の個人面談を通して良好な関係構築に努めた。 ■授業や部活動での様子について教員間で情報共有した。 ○生徒どうしがさらに良好な関係を構築できるように取り組む。(学年部) ○教員に直接相談できない生徒にとってアンケートは有効であると考え、アンケートに頼らず、悩みや困り感を気軽に相談できる体制をつくる。 | | | | |
| | ⑬新型コロナウイルス感染防止対策 (生徒指導部) | 検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などにより感染防止対策が徹底しているか。 | 検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などにより感染防止対策が徹底しているか。 | 検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などにより感染防止対策が徹底しているか。 | 81 | | 91 | | 90 | | A | 87 | A | | ■マスクの着用と消毒については概ねできている。 ○手洗い・検温・換気は不十分な面があり、啓発活動を継続して行う。 | | | | |
| | ⑭学校満足度 (教職) | 学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学してよかったか。 | 学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったか。 | 学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったか。 | | | 89 | 90 | 93 | 94 | A | 91 | A | 92 | ■生徒保護者ともに高評価である。 ○地域資源を有効活用し、特色ある学校づくりに努める。 | | | | |
| 学校全体で取り組む働き方改革の推進 | ⑮意識改革 (教職) | 管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっているか。 | 管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっているか。 | 管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっているか。 | 42 | | | | | | C | 42 | C | | ■勤務時間の記録・提出により、時間外勤務は少なくなりつつある。 ○各部署で行事や業務の実施方法の改善に取り組む。 ○管理職、各分掌長、主任は業務の進捗状況を確認し、見通しを持った業務の遂行に努める。 | C | ⑮について ・教職員のゆとりが生徒の教育に繋がる。 ・時間外勤務と多忙感必ずしも相関しないし、教職員によっても違いがある。 ・時間外勤務の多少で教育効果が上下するものではないが、教材研究や会議等工夫次第で時間削減につながる。 | | |
| | ⑯環境整備 (教職) | 林道の取得、校舎・寮の施設設備の改善(トイレや玄関のセンサー・廊下の設置など)、環境環境の美化(整理整頓、毎日の清掃など)により働きやすい職場になっているか。 | 林道の取得、校舎・寮の施設設備の改善(トイレや玄関のセンサー・廊下の設置など)、環境環境の美化(整理整頓、毎日の清掃など)により働きやすい職場になっているか。 | 林道の取得、校舎・寮の施設設備の改善(トイレや玄関のセンサー・廊下の設置など)、環境環境の美化(整理整頓、毎日の清掃など)により働きやすい職場になっているか。 | 58 | | | | | | C | 58 | C | 58 | ■施設設備の改善や環境美化の取組が進み、働きやすい環境になりつつある。 ○多忙感の解消に努め、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。 | | | | |